

情報通信技術（ICT）の進展が中小企業の海外事業を円滑に進める半面、情報セキュリティに関するリスクは高まっており、従来のリスクのみならず、新たなリスクにも対峙する必要があります。ハード面とソフト面の両面から対策を講じることが求められます。

ICTの進展は目覚ましく、中小企業が海外事業を展開する地域ではどこでもICTなしでは事業が進まないといっても過言ではないでしょう。半面、情報セキュリティに関

中小企業 海外展開のツボ

するリスクはますます高まっており、適切な対策が求められています。

まずハード面では、コンピューターのウイルスへの感染や、停電や落雷、地震や洪水などによるデータの消失といった従来のリスクに加え、サイバー攻撃によるシステムダウンや標的型メールによるウイルスへの感染といった新たなリスクへの対策が求められます。

情報保全 適切な対策を

SOMPOリスクアマネジメントERM事業部 横山 歩氏
上席コンサルタント

またソフト面では、特に現地従業員に対し、情報セキュリティに関する教育や研修を実施することにより、情報セキュリティに対する意識を向上させることが最も重要です。たとえば、パスワードによるファイル管理やメール誤送信防止策を徹底する、データを社外に持ち出す際のルールを厳格に運用する、ソーシャル・ネットワーキング・サービス

（SNS）利用上の注意点を明示するなど、対策の必要性を理解し、実践できるようにするまで繰り返します。

一方、現地従業員による意図的な情報漏洩も深刻な問題です。機密情報へのアクセス・コントロールを厳重にする、転退職後も守秘義務を負うことを雇用契約の締結時に同意させるなど、ハードとソフトの両面から対策を講じることが必要です。

情報セキュリティへの対応のポイント

①ハード面での対策を講じる

コンピューターのウイルス感染など従来のリスクに加え、サイバー攻撃など新たなリスクからシステムを守る対策を講じる

②ソフト面での対策を講じる

従業員に対する教育や研修を通じて、情報セキュリティ対策の必要性を理解してもらい、日々の業務で実践してもらおう

③従業員による情報漏洩を防ぐ

従業員による意図的な情報漏洩についても、ハードとソフトの両面から対策を講じる

2017年4月7日
日経産業新聞